

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫(文、写真)、倉谷邦雄(写真)

日時：2017(平成 29)年 8 月 20 日(日) 9:30～13:15

気象：天候=晴(12 時の気温：32℃)

活動エリア：45 林班にー01(作業小屋南斜面一帯)

活動内容：枯損木除伐と日照を遮る常緑樹の除伐、並びに林床整備

参加者：泉家恵子、斧田一陽、小櫃徹夫、倉谷邦雄、河野直子、後藤和子、

薦田佳一、杉本佳英、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山國

(計 12 名)

<残暑ことのほか厳しい折り……なので>

活動地の気温は今夏最高、「ザンショ、ザンショ、そう残暑」とでも愚痴りたくなる一日。暑さを避け、作業は午前で切り上げ午後は打ち合わせに当てることに。まずは近場の作業小屋南斜面に残る枯損木の除伐や日照を遮る伸び過ぎた常緑樹の除伐、並びに林床整備に取り組むことに。秦さんご葬儀のこと、大阪さとり地域協議会の新活動地視察を受け「モニタリング調査区の選定や面積の測り方など適正」との評価を受けたこと、等の報告を受け、三班に分れサア、作業開始。

<近場で山道は歩かないが、その代り斜面を降りる>

小屋の南斜面の上部は手入れが進んでいるが、7～8m より下は倒木も枯損木もあり、広葉樹の密生ありで、下の植林地が見透かせない状態。高い枯損木は切っても上部が生木の枝にかかって中々倒れ落ちてくれない。例によってチェーンブロックの出番になるが、半日だとズリ落とすのが精々で、玉切りは後日のお楽しみにせざるを得ない。枝を広げた広葉樹も同様で、後処理は残したがそれでも 15～20 本は整理出来た。

12 時過ぎからの打ち合わせは今年度の活動地と取り組み内容の確認、ダニ・ハチ・蛇など危険生物への注意喚起など。今日も一匹だがアキガバチが偵察(?)に飛び廻っていた。小一時間で切り上げ、汗を流しに名湯「美人の湯」へ。

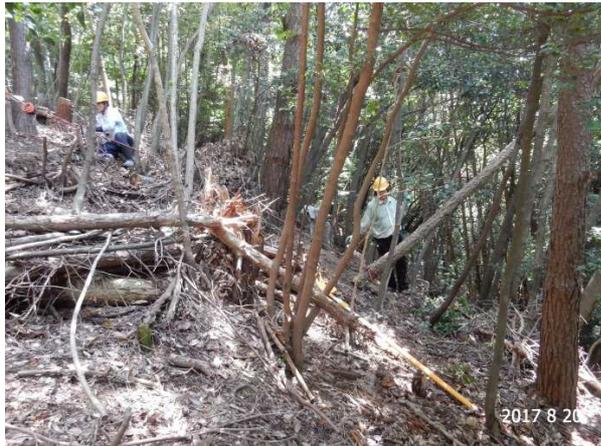
【朝から暑さにややバテ気味?】



【手古摺った斜面の枯損木】



【画面左上：チェーンブロックの出番】



【ようやく引きずり降ろす】



【枯れた常緑樹】



【倒しはしたが、玉切り処理は後日に】



【テーブルに地図を広げて打ち合わせ】



【空には入道雲がモクモク】

